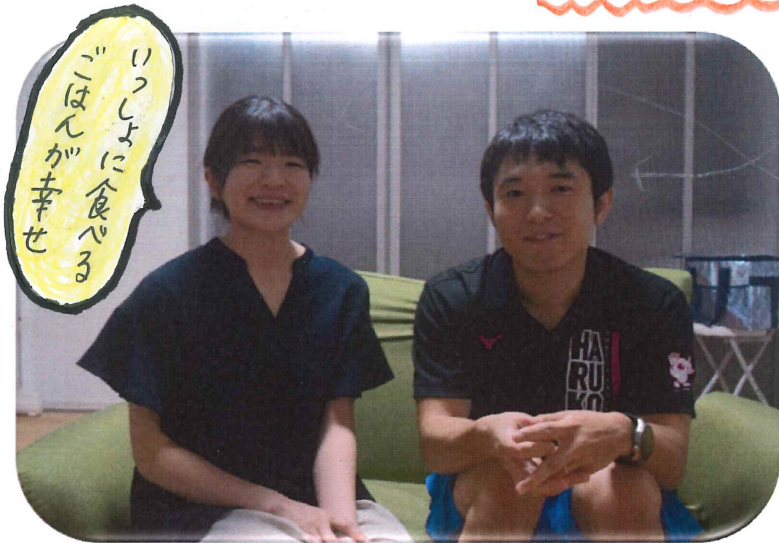


大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区の避難指示が解除されました。さらに2022年6月には下野上地区など町内の一部で避難指示が解除され、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

結婚を機に大熊に住むという選択

こんにちは😊 少しずつ居住人口が増えている大熊町。最初の避難指示解除の頃から、町内で働く人の姿もあるし、意外と若い居住者は多い町だと思っていました。一方で、単身者は結婚したら町外に生活の拠点を求める…そんな印象があったのもたしか。そんな中、結婚して大和久に住み始めた新婚さんがいました。



いっしょに食べるごはんが幸せ

大熊町出身で役場職員の夫・志賀秀一さんと、相倉町出身の妻・愛里さんは8月に入籍。結婚まで、いわき市で働いていた愛里さん。大川原在住だった秀一さんは自然といわき市への転居を想定していましたが、愛里さんもまた、大熊への移住を考えていたそうです。

驚いて「大熊にはまだ何も無いよ。原発にも近くなるよ」と説明した秀一さん。「特に気にならなかった」と愛里さん。2人は、インターネットの不動産情報で大和久のアパートを見つけ、入居を決めました。正直、行き交う人も街灯も少ない。朝は「キジの鳴き声で目が覚める」という環境ですが、「困ることはないですねえ。…スーパーが近くにあればうれしいと思うけど」と笑う2人。



節目を迎えた若い世代の選択に、当たり前のように軽やかに「大熊での生活」があることを、うれしなと思いました😊 お幸せに。



「お月見だから」と団子を用意してくれました。

仕事から帰ってきたら、夫は筋トレ。有酸素運動に入ったら「魚を焼き始めるサイン」と妻。



毎日の決まりごとらしい

こんにちは👋 10月7日に「学び舎
ゆめの森」の敷地と近隣の特設会場
で「ふたばワールド」が開催されました
よ👀 来場者はなんと約8000人👁️
帰町後、最大規模のイベントとなりました🎉

＼最高のイベント日和！各町村ののぼりが並んでいます！／



ふたば未来学園の生徒たちが
作ったパンやオリジナルスイーツが
食べたかったのですが、私が会場
に到着した10時頃にはすでに
完売でびっくり!! もっと早く来れ
ばよかったー

ふたば 双葉地方の復興のシンボル

ふたばワールド



まあちゃん

今年は大熊町で開催!!

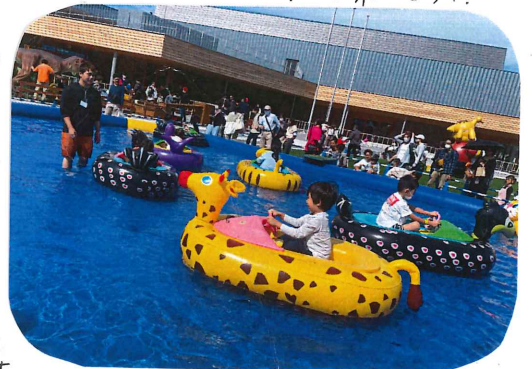
とっても楽しそう!!



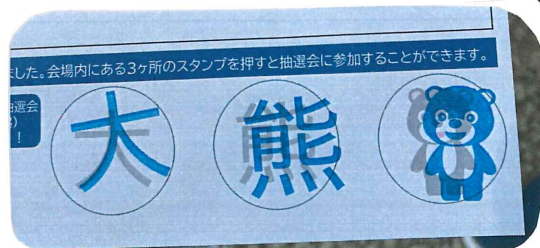
サブステージで行われたストレッチ講座
人工芝に座って伸びー! きもちいい!

ゆめの森を指さし
ながら「この建物が
教育施設なの? 大
学みたいでかっこい
いね!」なんて声
も♪ 町のことを
知ってもらいたい機
会になっているなと
感じました🍀

ゆめの森のグラウンドは
ちびっこが遊ぶスペースになっていまし



メインステージはすごい人だかり!



スタンプラリー
に挑戦!
3つそろえて
抽選会に
参加すると...



お菓子の詰合せも選択🍀

さまざまな飲食店が並ぶ
ほか、復興の取り組みを
PRするブースもありました🍀
どのエリアも大盛況でしたよ!
このイベントに双葉郡8
町村の魅力がぎゅっと
つまっているなと感じました🍀